版 2121 ~ 2123

法比丘尼御前御返事

弘安 4 年 こうあん '81 '81 60 歳され 妙法 みょうほうあま

明衣一つ、給 めいいひと び畢わんぬ。 お

によにん 女人の御身、男にもおくれ、 おんみ なん しんるい 親類をもはなれ、 離 二人あ ににん

るむすめも、はかばかしからず便りなき上、法門の故に人に たよ うえ ほうもん ゆえ ひと

もあだまれさせ給う女人、さながら不軽菩薩のごとし。 怨 たも によにん ふきょうぼ さっ

ほとけ おんいも まかはじゃはだい び く に によにん

るに、 仏 の御姨母・摩訶波闍波提比丘尼は、女人ぞかし。し 阿羅漢とならせ給いて、 あらかん たま 声間の御名を得させ給い、 しょうもん みな

永不成仏の道に入らせ給いしかば、女人の姿をかえ、ようふじょうぶつ どう い たま ようふじょうぶつ

ふじょうぶつ きさきの 位を捨てて、 仏の御すすめを 敬い、四十余年が 不成仏と聞きしは、いかばかりあさましくおわせしに、 るなげきは離れぬとこそ思いしに、相違して二乗となり、永 その身をいといて 形 をやつし、尼と成って 候 えば、かか けても、あだなを立てし、はずかしく口惜しかりしぞかし。 て後生をねがいしに、成仏の道を許されずして永不成仏の ほど、五百戒を持つて昼は道路にたたずみ、夜は樹下に坐し ごしよう 女人なれば、過去遠々劫の 間、有るにつけても無きにつ ごひゃくかい くらい か こ おんのんごう あいだ かたち ひる ほとけ じょうぶつ おも どうろ どう おん あま ゆる そうい くちお にじょう そうら よる ようふじょうぶつ しじゅうよねん

喜見仏と成らせ給いしは、いくら程かうれしく 悦 ばしくお 法華経にして三世の諸仏の御勘気を許され、 きけんぶつ ほけきょう さんぜ たま しょぶつ ごかんき ゆる よろこ いっさいしゅじょう 一切衆生

わしけん。

りとも背かせ給うまじきぞかし。 「大音声をもって、あまねく四衆に告げたまわく『誰か さるにては、法華経の御ためと申すには、いかなること有 だいおんじょう そむ たも ほけきょう おん もう それに仏の言わ ほとけ のたま

云々。 あまごぜん くこの娑婆国土において、広く妙法華経を説かん』と」等 尼御前・女人たち何事をも忍んで我が滅後にこの娑婆世界 われ しゃばこくど 我も我もと思うに、 によにん われ なにごと おも ひろ 諸仏の恩を報ぜんと思わ しょぶつ みょうほけきょう おん めつご ほう しゃばせかい とう

宣べん」と申させ給いしは、能く能く不得心の尼ぞかし。の
・ もう たま よ よ よ ふとくしん あま にして法華経を弘むべしと、三箇度までいさめさせ給いし いくばくか 仏 悪しとおぼしけん。されば、 御用いなくして、「他方の国土において、広くこの 経を はちじゅうまんおく な ゆ 八十万億那由他の 諸 の菩薩をこそ、つくづくと御覧 ほけきょう ほとけにく ひろ たほう もろもろ ぼさつ こくど さんかど 諫 仏はそばむき ひろ ほとけ きょう ごらん

じょうぶつ ぜしか。 の女人と生まれさせ給いて、かかるものおぼえぬ島のにょにん。う 成仏の道はよわかりけるやとおぼえ 候 に、今、 されば、女人は由なき道には名を折り命を捨つれども、 どう によにんよし どう そうろう いのち まつだいあく せ 末代悪世

えびすに、 させ給う。彼の比丘尼には雲泥勝れてありと、仏は霊山にたもたものがなくに、うんでいすぐ なづけらる。これは 仏 の 言 をたがえず、この娑婆世界ま 名なり。名はかわれども、師子の座は一つなり。この名もなり。な、変 すは別のことにあらず、今の妙法尼御前の名にて 候べし。 かわるべからず。 彼の 仏 の御言をさかがえす尼だにも一切衆 生喜見仏と 王となる人は、過去にても現在にても、十善を持つ人の ほとけ ひと のられ、 みこと かこ 打たれ、責めをしのび、 ほとけ いま ことば みょうほうあまご ぜん げんざい 忍 いっさいしゅじょうきけ じゅうぜん 法華経を弘め しゃばせかい そうろう

名を失い、命をすつる尼なり。彼は養母として捨て給 うしな たにん いのち あま かれ ようぼ ほとけ

わず、これは他人として捨てさせ給わば、偏頗の 仏 なり。 そうろう なか しゅじょう

いかでか、さることは 候 べき。いわんや、「その中の衆生

いま 今の尼は女子なり、彼の尼は養母なり。養母を捨てずして ことごとくこれ吾が子なり」の経文のごとくならば、 おなご あま ようぼ きょうもん ようぼ

女子を捨つる 仏 の御意やあるべき。この道理を深く御存知 ほとけ みこころ どうり ふか ごぞんち

あるべし。しげければ、とどめ候い畢わんぬ。 そうら

日蓮 花押 いおり

妙法尼御前